

平成29年度 保護者学校評価

(1) 保護者アンケート結果（各学年平均，全校平均）※評価項目 No.13 は今年度より採用した。

	1年	2年	3年	全校	昨年度
1 印旛中学校の教育について総合すれば満足している	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9

1 教科の学習指導(授業内容, 指導技術など)	2.7	2.8	2.7	2.8	2.7
2 個に応じたきめ細かな学習指導	2.6	2.5	2.4	2.5	2.5
3 心の教育の取組(道徳の授業や体験活動など)	2.9	3.0	2.9	2.9	2.9
4 運動会・合唱コンクールなどの学校行事の取組	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4
5 将来の生き方や進路指導の取組	2.6	2.7	2.7	2.7	2.7
6 部活動の指導	2.8	2.4	2.8	2.7	2.8
7 服装やあいさつ等, 基本的な生活習慣の指導	3.1	3.0	3.1	3.1	2.9
8 交通安全等の取組	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9
9 学校からの情報発信(学校だより, 学年だより, HP等)	3.3	3.2	3.2	3.2	3.3
10 校舎や教室のきれいさ	3.0	3.0	3.1	3.0	2.9
11 教師と生徒の人間関係	3.0	2.8	2.9	2.9	2.9
12 子どもに関する心配事や悩み事についての相談	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8
13 いじめの未然防止, 早期発見・早期対応	2.7	2.7	2.7	2.7	/

最近6か年 印旛中に対する満足度評価
(全学年の平均)

29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
2.9	2.9	2.9	2.8	2.9	2.9

(2) 回収率

・1年生	88世帯中	84世帯	95%
・2年生	113世帯中	101世帯	89%
・3年生	141世帯中	125世帯	89%
			全校 91%

(3) 考察

○全体の傾向

- ・昨年度と比べて総合的な満足度は同じであった。各項目では、昨年度に比べ、12項目中2項目でポイントが下がったが、その一方で4項目のポイントが上がった。昨年度までには見られない傾向が現れた。また、満足度の高い項目は「学校行事への取組」と「学校からの情報発信」で、昨年度と同様な傾向となった。
- ・「個に応じたきめ細かな学習指導」の評価は、これまでと同様に厳しい結果が続いている。
- ・今年度より評価項目に取り入れた「いじめ未然防止，早期発見・早期対応」は、おおむね満足する評価より低い結果となった。来年度以降の推移を注視したい。

○課題等

- ・学習指導，特に個に応じたきめ細かな学習指導に課題が残る結果となった。授業改善に関する情報提供を積極的に行うとともに，土曜授業参観や定期的な学校公開を実施して具体的な取組を保護者に参観してもらえような方策を図っていく。
- ・「部活動の指導」のポイントが下がっており，課題の1つである。特に，2年生保護者の評価が厳しい結果であった。本来であれば，もっとも活動への理解・協力を得る必要がある家庭層であるため，経営改善は急務である。多くの保護者の意見を集約し問題を明確化して，具体的な取組を早期に打ち出していかなければならない。
- ・「体育祭・合唱コンクールなどの学校行事の取組」は，昨年度に引き続きよい評価を維持できた。

○意見欄について

- ・学習指導の改善をお願いしたい。例えば，能力別に宿題の量や課題内容を変えて出したり，基礎が身につけていない生徒にはドリル等を繰り返し行わせるというような工夫をしてほしい。また，家庭での生活の様子や学習環境に興味を持って情報収集してほしい。
- ・学習面において，授業に遅れをとっている生徒への対応をもっと考えてほしい。
- ・夏休み等に補習をもっと計画してほしい。
- ・目立つ生徒だけでなく，やる気が出ないおとなしい生徒の可能性をより引き出す指導を充実させてもらいたい。
- ・あいさつについては大変すばらしいと思う。学校に行った際に廊下等ですれ違うことがあると，皆「こんにちは」と声をかけてくれる。
- ・先生方は仕事で忙しいと思うが，部活動は中学生にとって大切な活動だと考える。多忙で忙しいのであれば外部から指導者をお願いするなどの対応を考えてほしい。
- ・学級担任から毎週学級通信を発行していただき大変ありがたい。記載してある内容も毎回興味深くすばらしい。
- ・短縮日課等で下校時間が変更になる時は，一ヶ月前までに学年だよりなどで事前に伝えてほしい。

平成29年度 生徒学校評価

(1) 生徒アンケート結果（各学年平均，全校平均）※評価項目 No.13 は今年度より採用した。

		1年	2年	3年	全校	昨年度
1	印旛中学校の教育について総合すれば満足している	3.4	3.3	3.0	3.2	3.1

1	教科の学習指導(授業内容, 指導技術など)	3.5	3.4	2.9	3.2	3.1
2	個に応じたきめ細かな学習指導	3.2	3.2	2.8	3.0	2.9
3	心の教育の取組(道徳の授業や体験活動など)	3.5	3.4	3.1	3.3	3.2
4	体育祭・合唱コンクールなどの学校行事の取組	3.8	3.7	3.6	3.7	3.6
5	将来の生き方や進路指導の取組	3.4	3.4	3.2	3.4	3.2
6	部活動の指導	3.5	3.2	3.3	3.3	3.2
7	服装やあいさつ等, 基本的な生活習慣の指導	3.6	3.5	3.3	3.4	3.3
8	交通安全等の取組	3.5	3.4	3.3	3.4	3.2
9	学校からの情報発信(学校だより, 学年だより, HP等)	3.5	3.6	3.4	3.5	3.4
10	校舎や教室のきれいさ	3.2	3.1	2.8	3.0	2.8
11	教師と生徒の人間関係	3.4	3.2	3.0	3.2	3.1
12	心配事や悩み事について先生方への相談	3.4	3.3	3.0	3.2	3.1
13	いじめの未然防止, 早期発見・早期対応	3.4	3.2	2.9	3.2	/

最近6か年 印旛中に対する満足度評価 (全学年の平均)	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
	3.2	3.1	2.9	2.9	3.2	3.1

(2) 回答数

- ・1年生 111名
- ・2年生 112名
- ・3年生 137名

計 360名

(3) 考察

○全体の傾向

- ・昨年度と比べて総合的な満足度は0.1ポイント上がった。3年連続上昇傾向となった。
- ・総じて昨年度に比べ、12項目中全ての項目でポイントが上がり、その中でも「体育祭・合唱コンクールなどの学校行事の取組」はかなり高い評価となった。これは昨年度と同様な結果となった。生徒たちの満足感が伺える。
- ・今年度より評価項目に取り入れた「いじめ未然防止, 早期発見・早期対応」は、おおむね満足する評価より高い結果となった。来年度以降の推移を注視したい。

○課題等

- ・「個に応じたきめ細かな学習指導」は、3学年で依然厳しい結果となったが、全校評価ではおおむね満足する評価まで回復してきた。今後も引き続き生徒からの授業評価を実施し、問題点の明確化や生徒の要望等を把握しながら、わかりやすい授業改善に取り組み、学力向上に対する生徒の期待感に添えていく。
- ・「校舎や教室のきれいさ」は、昨年度と比べると0.2ポイント上がり、おおむね満足する評価に到達した。今後も生徒による自治的活動をより活性化していく。

○意見欄について

◇ほとんどの生徒からは意見はなかったが、数名の生徒から次のような記載があった。

- ・「個々に応じたきめ細かな学習」については、教科によって差があると思う。
- ・アクティブラーニングなど生徒が自主的に勉強できる環境をつくってほしい。班で話し合う場面が多くなると、一人ひとりの発言回数が増えてくると思う。
- ・教科によって授業の進度ははやい。板書をノートにとる時間を確保してほしい。
- ・教師から生徒への余計な一言があり、言動には気をつけてほしい。
- ・1週間の予定表がないと、何があるか、何時に下校なのかわからなくて不便である。
- ・給食のときのマナーが悪い。改善する必要がある。
- ・校内に入らずに道路で送り迎えをしている人がいる。
- ・雨漏りしている所がある。

平成29年度 職員学校評価

(1) 職員アンケート結果（全職員平均）※評価項目 No.13 は今年度より採用した。

	職員	昨年度
1 印旛中学校の教育について総合すれば満足している	3.1	3.0

1 教科の学習指導(授業内容, 指導技術など)	2.9	2.9
2 個に応じたきめ細かな学習指導	2.9	2.8
3 心の教育の取組(道徳の授業や体験活動など)	2.9	2.9
4 運動会・合唱コンクールなどの学校行事の取組	3.6	3.5
5 将来の生き方や進路指導の取組	3.0	3.0
6 部活動の指導	3.1	3.1
7 服装やあいさつ等, 基本的な生活習慣の指導	2.9	2.3
8 交通安全等の取組	3.2	3.1
9 学校からの情報発信(学校だより, 学年だより, HP等)	3.9	3.8
10 校舎や教室のきれいさ	2.8	2.5
11 教師と生徒の人間関係	3.0	2.7
12 子どもに関する心配事や悩み事についての相談	3.0	3.0
13 いじめの未然防止, 早期発見・早期対応	3.2	/

最近6か年 印旛中に対する満足度評価
(全職員の平均)

29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

(2) 回答数
教職員数 28名

(3) 考察

○全体の傾向

- ・総合的な満足度は昨年度と比べ0.1ポイント上がった。(昨年度に比べ, 生徒評価は0.1ポイント上がり, 保護者評価は同じであった。)
- ・総じて昨年度に比べ, 12項目中7項目でポイントが上がり, 特に「服装やあいさつ等基本的な生活習慣の指導」の評価は0.6ポイントも上がった。また, 「校舎や教室のきれいさ」と「教師と生徒の人間関係」の評価も, それぞれ0.3ポイント上がった。
- ・保護者評価と比べると多くの項目において評価結果に差が見られた。学校の取組が保護者や地域の方々にはわかりやすいように, 学校運営について一層情報発信していく必要がある。
- ・「いじめの未然防止, 早期発見・早期対応」は, おおむね満足する評価となった。来年度以降の推移を注視したい。

○課題等

- ・学習指導に関する項目および「心の教育の取組」は, 保護者の評価結果と同様に依然として課題である。今年度より実施した職員研修を来年度も継続して, 教師一人ひとりの指導力向上を図っていく。
- ・「服装やあいさつ等, 基本的な生活習慣の指導」と「校舎や教室のきれいさ」の評価は, 大幅に上がった。2つの項目は生徒指導の中で重点課題に位置づけ, 職員の課題意識が非常に高くなったと同時に, 保護者や生徒の評価結果と併せて分析した改善策が功を奏した結果と考える。
- ・保護者と生徒の評価結果を真摯に受け止め, 分析・精査して学校運営を来年度さらに推進する。

○意見欄について

- ・あいさつについては以前から課題である。さらに全職員が高い意識をもち, あいさつ向上に向けた取組の強化に努める必要がある。
- ・服装, あいさつ, 基本的な生活習慣については, 全職員で声をかけ続けることが大切である。
- ・部活動が生徒任せになると, トラブルが起こりやすくなるので, 職員で協力しながら, 誰かが必ず見守れるような体制づくりを行う必要がある。
- ・特別支援や個に応じた指導をもっと検討していきたい。
- ・適応指導を必要とする生徒が増えてきている。学校全体で取り組む体制を早くつくらなければならないと考える。
- ・先生方がとてもやさしく接していただき, 何があっても相談できる教師集団だと思ふ。
- ・保護者の意見や指摘について職員会議等で周知し, 職員から多くの意見を求め, 来年度の学校経営に反映していかなければならない。